

# 日本の早生樹取組の方向性

令和4年10月  
林野庁計画課長  
長 崎 屋 圭 太

# 木製家具と住宅資材の出荷額

シンポジウム『早生樹セン  
ダンの循環式利活用』資料

経済産業省『工業統計』より

	年次	出 荷			
		数量単位	隻数	数量	金額 (百万円)
木材チップ	2019	—			113,213
住宅建築用木製組立材料	2019	—			633,376
床板	2019	—			159,491
木製机・テーブル・いす	2019	—			138,384
木製流し台・調理台・ガス台(キャビネットが木製のもの)	2019	—			152,232
たんす	2019	—			21,759
木製棚・戸棚	2019	—			115,782
木製音響機器用キャビネット	2019	—			3,027
木製ベッド	2019	—			14,647
その他の木製家具(漆塗りを除く)	2019	—			168,184
建具(金属製を除く)	2019	—			231,401

8,450億円

日本の林業・木材産業関係者は、『国産材』と言うとまずは住宅や建築物の柱や梁などを連想するが、出荷額ベースで言えば、家具や装備品(木製)の方が大きい。

家具や木製装備品の原料は輸入広葉樹の割合が高く、今後の入手は不透明。  
これを国産広葉樹に変えていくことができれば、川上の木材の供給者にとっても、川中の製造者にとっても良いはず。

◎なぜ広葉樹？ → 種類が豊富、(針葉樹に比べて)硬い、など。

◎なぜ早生樹？

経営の見通しが立つ年数(一般の林業の50年は経営とは言えない)

世界的な林木育種のキーワードは8年。

## 早生樹について

- 早生広葉樹（センダン、チャンチン、ユリノキなど）

（例）センダン（梅檀）…西日本に広く分布。陽樹で成長が非常に早い。芽かきにより幹を通直に伸ばす技術が確立。ケヤキの代替材として家具業界が注目。

（例）ユリノキ …北米産の落葉広葉樹。街路樹や公園樹として植栽。通直な樹幹を有するため、用材として適している。東北森林管理局が熱心。

（例）チャンチンモドキ…日本では九州中南部に分布、九州北部が北限。伐採後の割れが生じやすいものとそうでないものがあり、育種を進める必要。



ユリノキの突板



チャンチンモドキの突板



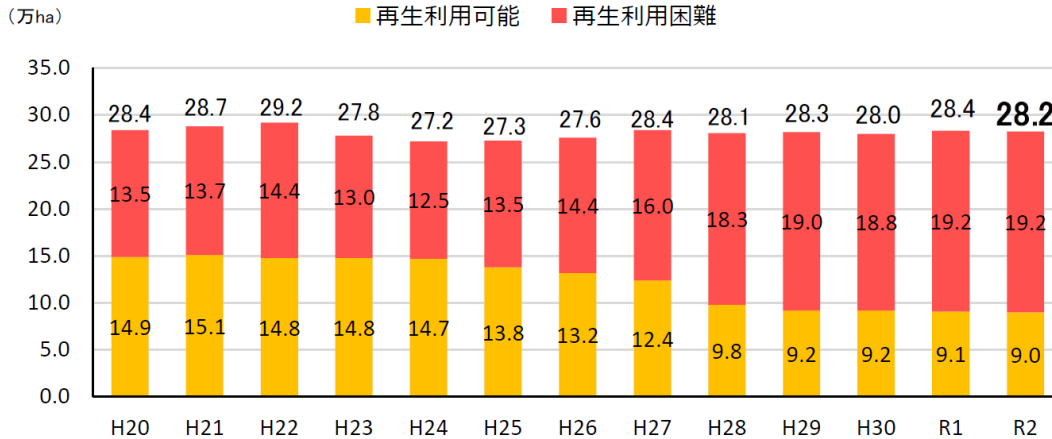
センダンの突板

- コウヨウザン（広葉杉）…中国南部原産。スギより成長が早い。材質はスギに似て通直でスギより固い。萌芽更新するので第二世代、第三世代の植栽が要らない。鹿児島をはじめ産地への植林が急速に進んでいる。植林してすぐのウサギの被害対策が必要。バイオマス利用に適している。



コウヨウザン  
のテーブル

## ○ 全国の荒廃農地面積



※「再生利用が困難と見込まれる荒廃農地」とは、「森林の様相を呈しているなど農地に復元するための物理的な条件整備が著しく困難なもの、又は周囲の状況から見て、その土地を農地として復元しても継続して利用することができないと見込まれるものに相当する荒廃農地」のこと。

再生利用が困難と見込まれる荒廃農地は増加傾向で、農用地区域外の荒廃農地も10万haを超えている現状。

## ○ 荒廃農地造林の優位性など

二地域政策面からみた場合二

- ① 農山村地域や農林家の新たな収入源となりうる。
- ② 藪化した農地が整備されることにより害獣の隠れ場所が少なくなる。

二伐採跡地への造林と比較してみた場合二

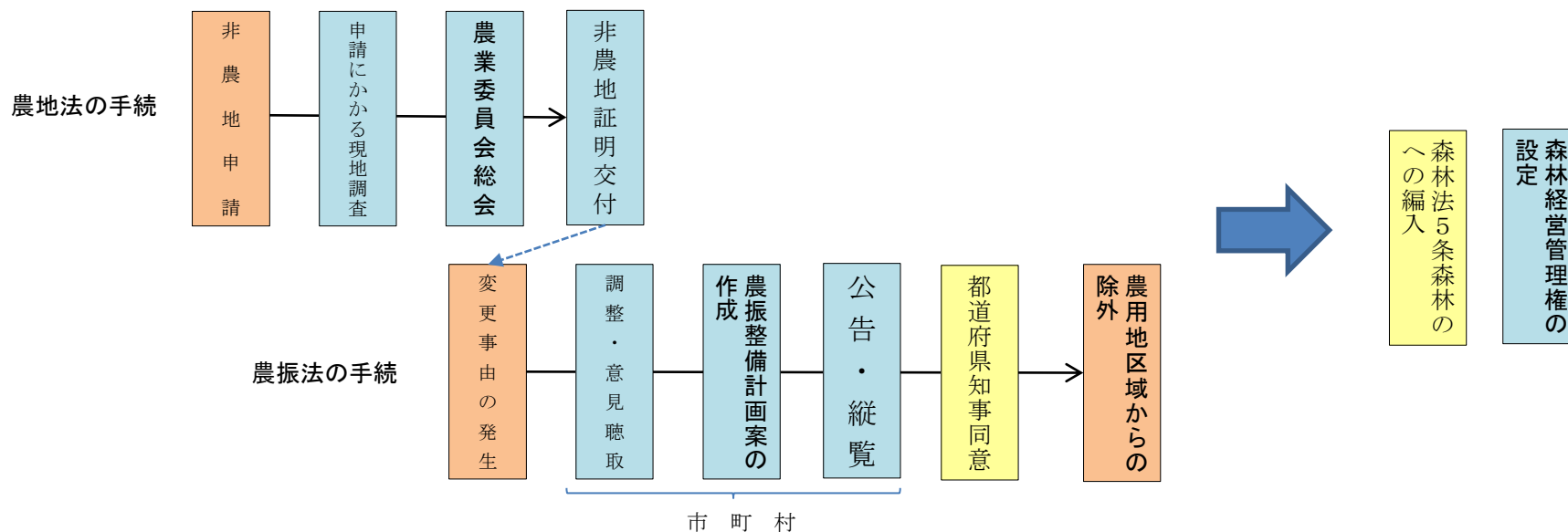
- ① 農道等の路網があり地理的条件が良い。
- ② 過去の農作業により土壌の耕耘がなされ石礫がない。
- ③ 平坦地で作業が容易。
- ④ 日照が良い。

二留意点二

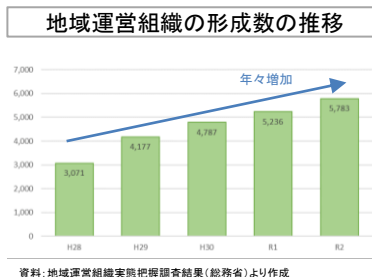
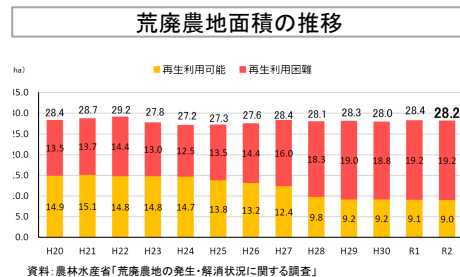
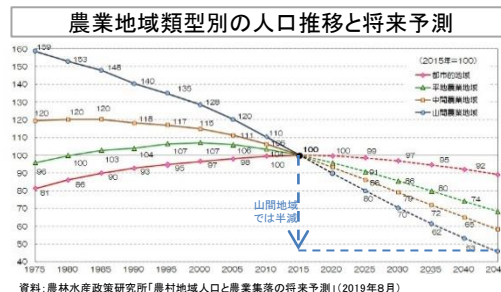
- ① 植栽木が成長した時に周辺農地の日照問題。
- ② 地力が旺盛でかつ既に木本が侵入しているので最初の地拵えにコストがかかる。最初の2、3年は草刈りも必要。(それでも森林でやるよりはマシ)

# 荒廃農地への植林にあたって留意すべき農業の制度

- 農地を林地に転用するためには、「農地法に基づく手続(非農地証明)」が必要。  
また、当該農地が農用地区域である場合は、「農振法に基づく手続(農用地区域から外す)」が必要。
- ① 再生利用が困難と見込まれる荒廃農地(19万ha)のうち、
  - ・農用地区域外(11.3万ha) ← 農振法の手続不要
  - ・農用地区域(7.7万ha) ← 農振法の手続必要
- ② 現行では、農用地区域からの除外手続(下図参照)に2~3年かかる場合もあり、早生樹による荒廃農地への植栽を進めていくためには、手続期間の短縮が必要。  
また、周辺の農地所有者からすれば、確実に林地となる(≡開発地(ex太陽光発電用地などにならない))保証が必要。



- 人口の減少、高齢化が進む農山漁村において、**農用地の保全等により荒廃防止**を図りつつ、**活性化の取組を計画的に推進**するため、
- ・地方公共団体が作成する活性化計画の記載事項として、農林漁業団体等が実施する農用地の保全等に関する事業を新たに位置付け、
  - ・当該事業の実施に必要な農林地等についての**所有権の移転等**を促進するための措置等を講ずる。



### 農山漁村地域の持続的な土地利用の推進

- 農用地の保全等に関する事業**を活性化計画の対象事業に位置付け、放牧等の粗放管理を含む**計画的な土地利用を推進**

#### 改正前

- 活性化計画の対象事業は
- ・生産基盤・施設の整備に関する事業
  - ・生活環境施設の整備に関する事業
  - ・地域間交流拠点施設の整備に関する事業

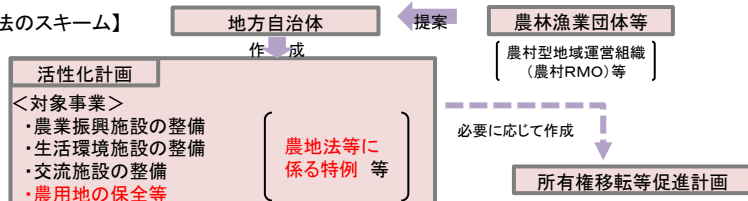


#### 改正後

- 活性化計画の対象事業に
- ・**農用地の保全等に関する事業** (放牧、鳥獣緩衝帯、林地化等)を追加



#### 【活性化法のスキーム】



### 関係法律に基づく申請手続の簡略化

(農山漁村活性化法と共通する添付書類の一部を省略等)

- 市民農園整備促進法に基づく認定申請手続の簡略化
- 多面法※**に基づく認定申請手続の簡略化

### 所有権移転等促進計画

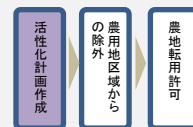
- 施設用地、**農用地の保全等に関する事業**の実施に必要な農林地等の所有権、賃借権等の権利関係の一括整理

### 地域の円滑な取組の推進

- 活性化計画に記載された事業を実施する際、**農地転用許可手続等の迅速化**の特例を措置

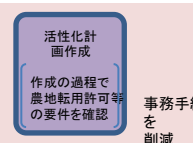
#### 改正前

- ・事業の実施に当たって、活性化計画の作成、農用地区域からの除外手続、農地転用許可手続等をそれぞれ実施



#### 改正後

- ・農地転用等について、活性化計画作成時に許可等の要件を確認**(農地転用許可手続等のワンストップ化)**



### 交付金による支援

- 農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション等整備事業)**により、農泊施設など農山漁村発イノベーション施設の整備等の取組を支援

- ※このほか、農山漁村振興交付金のうち、
  - ・農山漁村発イノベーション推進支援事業(商品開発、専門家派遣等)
  - ・農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業(モデル形成支援等)
  - ・最適土地利用対策等(土地利用計画の策定支援等)
- 等により地域の活動を支援



## 4-③ 農山漁村活性化法の改正の概要 (多面法に基づく認定申請手続の簡略化、農地転用許可等の迅速化)

### 改正点③ 特例B

- 農用地の保全等に関する事業が活性化計画に記載された場合、農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律（多面法）に基づく事業計画の認定申請に係る手続を簡略化。

### 改正点④ 特例C

- 市町村が活性化計画に記載する事業について、都道府県知事に協議し、その同意を得た場合には、農地法に基づく農地転用に係る許可等の手続を迅速化。

### 関係法律に基づく申請手続の簡略化

#### 改正前

- 活性化計画に**市民農園の整備に関する事業**が記載された場合、**市民農園法**に基づく認定申請に係る手続を簡略化



#### 改正後

- 活性化計画に**農用地の保全等に関する事業**が記載された場合、**多面法**に基づく事業計画の認定申請に係る手続を簡略化

#### 多面法に基づく事業計画

- ・ 日本型直接支払の申請手続

実施区域や活動内容等、活性化計画と共通する記載内容や添付書類の一部が省略可能

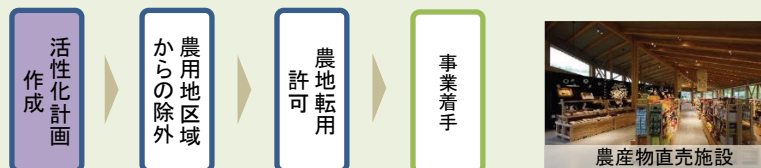


遊休農地の草刈り

### 農地転用許可等の迅速化

#### 改正前

- ・ 事業の実施に当たって、活性化計画の作成、農用地区域からの除外手続、農地転用許可手続等をそれぞれ実施



#### 改正後

- ・ 農地転用等について、活性化計画作成時に許可等の要件を確認（**農地転用許可手続等のワンストップ化**）



手続を削減、迅速化

## おわりに ～熊本市水前寺のセンダン植林木～

このセンダンは、熊本市水前寺にある熊本県庁職員の公舎の庭に2016年に植林されたものです。  
途中、誤って伐られたりもしましたが、伐り株から萌芽更新。驚異の成長を示しました。

- ・ 2016年 4月 植栽（苗高70cm）
- ・ 2016年 8月 樹高2.5mに成長  
＝ 植栽者の赤羽元氏談 ＝  
子供の頃「麻の苗木を植えてそれを毎日飛び越える」という跳躍力を鍛える忍者の修行を本で読んだが、まさにそれを思い出す日々。
- ・ 2016年9月 草刈りの業者さんに伐られてしまう！が、驚異的な生命力で9月末から10月頭頃にかけて伐り株から萌芽。誤って伐られることのないよう標識を設置し、素性の良い芽を残したところ、2016年末までには50～60cm程までに成長。  
（赤羽氏が人事異動。以降は後任の松木聡氏が毎月成長を記録）
- ・ 2017年7月 樹高2.7mに成長
- ・ 2018年8月 樹高4.8m、胸高直径9cm
- ・ 2019年8月 樹高 〃 胸高直径14cm  
（以降、肥大成長を続ける）
- ・ 2022年8月 宿舍の廃止に伴い伐採。胸高直径30cm



伐採前のセンダン